



6月27日（金）、28日（土）の2日間、大成区太田地域において、太田神社例大祭が開催されました。

例大祭初日は、大漁旗を掲げた漁船群による海上渡御や神事（奉奏松前神楽による神楽舞）が行われたほか、海の安全を祈願する御山掛けが行われました。

御山掛けが行われた太田神社拜殿から本殿（総距離705m）までの道のりは、急こう配の石段と登山道のような険しい山道となっており、最後の7メートルある絶壁に垂れている鎖をよじ登っていくと本殿にたどり着きます。

今年は、町内の若者7人が白装束に身を包み、御山掛けを行いました。

引き続き、特設ステージでは大成まちづくり会議主催による、ゲーム大会、久遠神楽や北海久遠太鼓などの郷土芸能、歌謡ショーに花火大会などのイベントが行われ、二日目は太田神社拜殿において特別祈禱が行われ、2日間の例大祭が無事終了しました。

編集後記

◎御山掛けの取材で初めて太田神社に登ることに。本殿まで先回りしようと思いましたが、序盤で足がかり、登りきるので精一杯で、一番最後に到着という大失態。その間、皆さんを本殿で待たせ大変「迷惑をおかけしました。もちろん、まったく写真が撮れず、ほぼ産業振興課のY君に提供してもらったという恥ずかしい結果に。Y君ありがとうございました。来年は今回の反省を胸に、もっと体力をつけてリベンジします。（児島）

◎サッカーワールドカップの終了で、寝不足の日々も終了。日本代表はあつという間に終戦でしたが、好ゲームが多く再放送まで見ちゃうほど、この1カ月はサッカーばかり見てましたね。そんなサッカーの祭典も4年後ロシアで行われますが、そのころには、今回ご紹介した北海道新幹線も開通し、人の流れも大きく変わっていることでしょう。開通まで2年を切り、各地でさまざまな取り組みや準備が行われています。確実に人が流れてくるので、それをどのようにこちらまで足を伸ばしてもらうのか？せたな町もまだまだ準備が必要です。そんな想いもあって、今年の観光ホスターは「冒険がテーマ。詳しくはP9を、今年はホスター制作のメンバーに選ばれ、1年ぶりの制作復帰。撮影では、現場の草刈りの場所が違ったり、小道具がほぼ忘れられて現場に無かったりと、ドタバタで幸先が不安でしたが、経験豊富なモデルさんたちの拔群な安定感で、撮影自体はあつという間でした。結局、撮影は草刈りと小道具のドタバタを演出した産業振興課H高さんの独り舞台でした。ちなみに、ホスターの主役は太田神社・児島君の恩人となったY君、表紙の写真も撮影する大活躍で本日に助かりました。（尾野）

